

## あなたも経験あるはず！ ヒヤリハット

### ヒヤリハットとは

重大な災害や事故までは至らないけれど、それに直結してもおかしくない一歩手前の出来事のことです。名前のとおり、突発的な事象やミスに「ヒヤリ」としたり、「ハッと」したりすることを言います。「このくらい大丈夫」「今回はたまたま起こった」と考えて改善しないことが一番危険です。小さなヒヤリハットこそ職場や家族で共有し、原因と対策を考えるきっかけにしましょう！



青信号になり横断歩道を渡ろうとした時に、左折してきた車に轢かれそうになった。

#### 対策

- ・青信号になってもすぐに渡らず左右の安全確認をする。
- ・雨で見通しが悪くなっている場合は特に注意する。
- ・運転手も巻き込みや歩行者の確認をしっかりと行う。



前の車が急ブレーキを踏み、それに対応できずぶつかりそうになった。

#### 対策

- ・十分な車間距離をとる。
- ・前の車のブレーキランプが点灯したら、足をブレーキの上に置いて、いつでも踏み込めるようにする。



夜間、外を出歩いた時に車が自分の存在に気付かず轢かれそうになった。

#### 対策

- ・明るい服装の着用や反射材を活用して、目立つように心がける。
- ・夜間に出歩く時は、歩道が設置してある道路を歩く。

### 武雄警察署からのメッセージ

#### 交通安全への願い

私は交通課員として勤務しており、これまで死亡事故など悲惨な交通事故を多く見てきました。

交通事故の当事者や関係者は、落胆された表情をされ、なかには泣きじゃくる方もいます。そのような光景を見るたびに、悲惨な交通事故を一件でも減らさなければいけないと強く思ってきました。

交通事故のない安全な武雄市を作っていくためには、市民の皆さまに高い交通安全意識を持ってもらうことが何よりの力になるので、その手助けをする仕事をしっかりとしていきたいかなければならないと思っています。

#### 交通事故を抑止するために

警察が行う交通安全対策には、講話や街頭警戒、交通指導取締りなどがあります。その中でも交通指導取締りは、交通事故が発生した場所、その原因を取り締ることで、ドライバーに緊張感を持ってもらう効果があります。

しかし、なかには、「車が来ていないのに、なぜ一時停止をしなければいけないのか」「横断歩道を渡っていた歩行者とは距離があったから危険ではなかった」と、交通違反の危険性を話しても納得してもらえないこと

武雄警察署  
交通課  
北村 係長



もありません。安全運転の重要性を再確認してもらうために根気強く話をし、納得してもらうことも安全対策のひとつだと思っています。

#### 気を付けてほしいこと

交通事故を起こそうとして起こす人はいません。交通事故は、ちよつとした油断や不注意から起こるものです。特に通りなれた道路や気持ち焦っているときは、そのような油断が出てしまいます。車のハンドルを握るときは、自転車や歩行者の安全を第一に考え、心にゆとりを持った運転を心がけてください。

#### 終わりに

武雄市から悲惨な交通事故をなくすため、今後も交通安全対策に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をよろしく願います。

歩行者がいたら  
必ず止まりましょう！  
お互いの気づきと思いやりが  
交通事故を減らすことに  
つながります！

